

Game Report

開催場所：東海大学九州 松前記念総合体育館

試合区分：第 23 回全九州大学バスケットボールリーグ戦 男子 1 部

試合期日：2016 年 9 月 18 日 (日)

試合時間：14:00～

主審：御手洗 亮

副審：大久保 好純

| | | | | | | |
|--------|----------|----|-------|----|----------|--------|
| 九州共立大学 | ● 5 8 | 10 | —1st— | 13 | ○ 6 6 | 鹿屋体育大学 |
| | | 17 | —2nd— | 17 | | |
| | | 19 | —3rd— | 21 | | |
| | | 12 | —4th— | 15 | | |

第 1 ピリオド

開始早々、九共大は # 1 1 久保田を筆頭に、# 7 持橋のアシストから # 9 小田のシュートが決まりリードを奪うも、鹿体大は # 2 5 石山が連続で決め同点に追いつく。九共大は焦りからかファウルが目立ち、その隙を逃さなかった鹿体大は、# 2 9 宮崎がシュートを沈め、勝ち越すことに成功。終了間際には、意地を見せた九共大 # 1 5 平良がシュートを決めるも、10-13、鹿体大が 3 点リードで第 1 ピリオド終了。

第 2 ピリオド

序盤、九共大 # 2 金城が得点し、# 2 2 河井がそれに続くようにゴール下から決め、流れを物にしたかのように思えた。しかし、鹿体大の粘り強いディフェンスに阻まれ加点を許してもらえない。対する鹿体大は、# 6 森山が 4 年生の貫禄を見せ、この試合初めての 3 P シュートをゴールに沈め会場を沸かす。点差を離されまいと、九共大 # 1 1 久保田も積極的に喰らいつき 3 P シュートを決め返すなど、攻守攻防の激しいピリオドとなる。しかしながら点差は変わらぬまま、27-30、鹿体大 3 点リードのまま第 2 ピリオドを終える。

第 3 ピリオド

逆転を図る九共大は、開始直後から # 2 金城がドライブで積極的にリングへ攻め、鹿体大のファウルを誘う。しかし、対する鹿体大も簡単に試合の主導権を譲らず、両チームの点取り合戦となる。九共大 # 2 金城の華麗なアシストから、# 1 5 平良の 3 P シュート、# 1 1 久保田のブレイクが決まり、# 2 金城自らも 3 P シュートを決めるなど、終盤は九共大に流れが傾き始めたかのように見えた。しかし鹿体大は、その猛攻に # 3 0 深江や # 2 9 宮崎のインサイドプレーで応戦。51-46 で試合の行方は最終ピリオドへ。

第 4 ピリオド

鹿体大リードのまま迎えた最終ピリオド。早々、# 1 2 河尻、# 1 7 土器手のシュートが決まり、九共大は思わずタイムアウトを請求。再開後、九共大はオフェンスリバウンドに積極的に挑み、高さのある # 1 0 片峯、# 2 2 河井のポストプレーからの得点で 1 点差にまで点差を縮めた。残り 5 : 2 2、鹿体大がタイムアウトを請求。落ち着きを取り戻した鹿体大はその後、九共大 # 2 金城の 3 P シュートなどで得点を許すも、自らのペースを乱すことなく、66-58、1 巡目のリベンジを果たし勝利を手にした。